2026 年 10 月 26 日
日本銀行帯広事務所

十 勝 の 金 融 経 済 概 況

1．全体感

十勝の景気は、一部に弱めの動きがみられるものの、持ち直している。

すなわち、公共投資は、増加している。設備投資、住宅投資は、弱めの動きとなっている。個人消費は、一部に弱めの動きがみられるものの、持ち直している。生産は、下げ止まっている。労働需給は、引き締まっている。

先行きについては、企業の賃金・価格設定行動や人手不足が管内の経済活動全般に及ぼす影響を注視していく。

2．最終需要の動向

公共投資は、増加している。

公共工事請負金額は、前年を上回った。

設備投資は、弱めの動きとなっている。

主要企業の9月短観における2026年度設備投資計画は、前年を下回っている。

住宅投資は、弱めの動きとなっている。

新設住宅着工戸数は、持家、貸家ともに前年を上回り、全体でも前年を上回った。

個人消費は、一部に弱めの動きがみられるものの、持ち直している。

主要小売店売上高は、前年を上回った。

耐久消費財をみると、乗用車新車登録台数（含む軽）は、普通・小型乗用車が前年を下回ったものの、軽自動車が前年を上回り、全体では前年を上回った。家電販売は、緩やかに持ち直している。

旅行・観光関連をみると、とかち帯広空港の乗降客数、主要温泉地の宿泊人数、市内ホテルの宿泊人数は、前年を上回った。

3．生産・雇用・企業倒産の動向

生産は、下げ止まっている。

乳製品の生産量、生乳の生産量ともに前年を上回った。

農作物の生育状況（10 月 15 日現在）をみると、概ね順調に推移している。

製材生産量は、前年を下回った。

労働需給は、引き締まっている。

企業倒産（負債額 10 百万円以上）は、発生しなかった。

4．金融情勢

預金残高は、前年を上回った。

貸出残高は、前年を上回った。

貸出約定平均金利は、上昇基調にある。

以　上